

長洲町下水道事業経営戦略の改定（概要版）

第1章 経営戦略改定の趣旨

平成30年度に「長洲町経営戦略」を策定し、適切な経営監理に努めてまいりましたが、策定から5年が経過し様々な環境の変化を踏まえ改定を行うものです。

計画期間：2024（R6）年度から2033（R15）年度までの10年間

第2章 長洲町下水道事業の概要

公共下水道事業、特定地域生活排水処理事業、個別排水処理事業の3事業を運営しています。公共下水道の整備が困難な地域において浄化槽を整備し、公共下水道処理区域と同等のサービスを提供することを目的としていますので、発生する欠損金については公共下水道での利益により補填し、3事業を合計した下水道事業において黒字となるよう経営しています。

事業名	供用開始	処理場数	経常収支比率	経費回収率
公共下水道	S60年度	1	106.08%	126.15%
特定地域生活排水処理事業	H15年度	37	60.79%	44.22%
個別排水処理事業	H17年度	55	65.41%	51.52%

第3章 将来の事業環境

処理区域内人口の予測	R4	R15
公共下水道	14,852人	13,865人
特定地域生活排水処理事業	82人	73人
個別排水処理事業	154人	190人

○個別は増加傾向にあるものの、3事業合計の処理区域内人口は人口減少に伴い減少する見込みです。

有収水量の予測	R4	R15
公共下水道	1,252,038m ³	1,194,097m ³
特定地域生活排水処理事業	6,530m ³	5,772m ³
個別排水処理事業	11,898m ³	14,864m ³

○3事業合計で、人口減少、節水家電の普及に伴い有収水量は減少する見込みです。

使用料の予測	R4	R15
公共下水道	217,760千円	206,913千円
特定地域生活排水処理事業	1,128千円	987千円
個別排水処理事業	2,005千円	2,501千円

○水洗化人口の減少などの理由により、今後減少傾向が続く見込みです。

第4章 経営の基本方針

①公共下水道事業

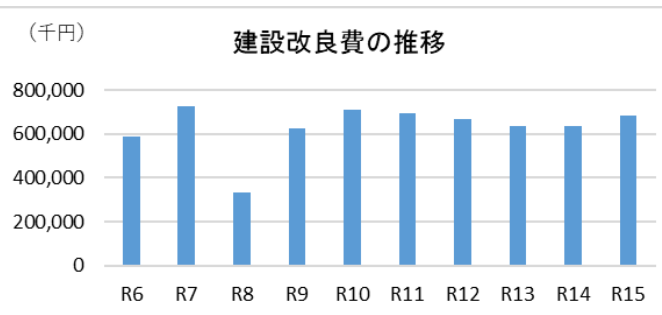
・水洗化の促進 ・下水道施設の老朽化対策 ・雨水対策

②特定地域生活排水処理事業・個別排水処理事業

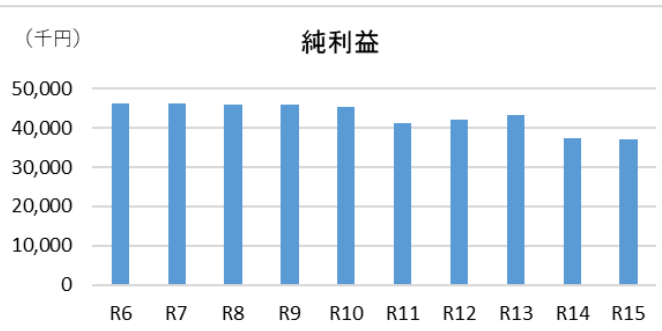
適正な施設の管理・修繕を行いながら施設の延命化を図り、効率的な事業運営を目指します。

目標指標値	指標名	目標数値等		
		R4	R10	R15
	繰入金（百万円）	461.02	310.21	319.64
	経常収支比率（%）	105.99	105.34	104.01
	流動比率（%）	38.29	92.10	250.72
	経費回収率（%）	126.45	128.04	122.61
	水洗化率（%）	92.80	94.84	95.54

第5章 投資・財政計画



○管渠
管渠ストマネ計画策定及び改築更新事業費。
○処理場
処理場ストマネ計画及び改築更新事業費。
○雨水関係計画策定及び改築更新事業費。



○純利益
R13まで4,000万円以上を維持し、経常収支比率105%程度を維持しています。R14以降は現金が増加し、積立金も十分に確保できることから繰入金を減らすなど、一般会計の負担軽減を図ります。

第6章 経営戦略の事後検証、改定等に関する事項

毎年度投資・財政計画の進捗管理（モニタリング）、5年毎に改定を行い、経営目標及び効率化・経営健全化のための取組内容と実績の比較を行い、乖離があった場合は、必要な対策を検討または必要に応じて目標値を見直す等の対応を図ります。